

## (4) 審査結果について：荒川大麻生公園

### (ア) 一次審査(20点満点)

審査基準、審査項目(指定管理料等の見積り、指定管理者管理運営状況、申請内容と現況調書の比較(供用日や供用時間)、埼玉県内に本店のある団体への加算)に基づき、資格・書類審査を実施しました。

### (イ) 二次審査(100点満点)

プレゼンテーション及び選定委員によるヒアリング等による審査を実施しました。

	審査項目	配点	埼玉県生態系保護協会・花園グリーンサービス共同体
一	一次審査（書類審査）	20	18.0
1	基本的な考え方	15	10.8
2	効果的かつ確実な管理運営	20	12.5
3	効率的な運営	10	6.3
4	応募者の経営基盤	10	10.0
5	緊急事態への対応	15	10.2
6	SDGsに配慮した運営	10	7.0
7	公園の特性を活かした管理・運営	20	11.7
	合計点	120	86.5

※ 合計点は各選定委員の合計点を平均した点数のため、各審査項目の平均点数を合計した点数と異なる場合があります。

### (ウ) 選定理由

- 野鳥の森や野草の広場など、荒川大麻生公園の自然的価値を十分に理解し、維持管理に努めている点、また、これまでの管理の実績が評価できる。
- 地域住民ボランティアによる公園での重要な役割を生み出し、地域貢献の機会を提供していることや、地域コミュニティの形成に寄与している点が評価できる。
- これまでの公園管理において、地域の環境に関する連絡協議会やスポーツ団体、近隣企業など、各種団体と連携・協働した管理運営を進めており、良好なパートナーシップの構築がなされている点が評価できる。

(参考) 選定委員の主な意見

団体名	意見
埼玉県生態系保護協会・花園グリーンサービス共同体	<ul style="list-style-type: none"><li>• 当公園の自然的価値を十分に理解し、維持管理に努めている点を評価した。</li><li>• 地域のボランティアによる公園での役割が大きく、地域貢献の機会を提供し、コミュニティ形成にも寄与している。</li><li>• これまでの管理実績により、様々な団体とパートナーシップが構築されている。</li><li>• 管理事務所がないことを利用者ニーズの把握が難しいことの理由としていたが、既に認識されている課題への改善策が具体的に提案されていない。</li><li>• サッカーと野鳥観察以外の利用者を増やすために、近隣地域住民への公園利用促進を工夫する必要がある。利用者を増やすために広報に注力する必要があり、手段および発信するメッセージ内容に課題がある。</li><li>• 指定管理者の共同体として造園会社を入れたのであれば、緑地管理のDX化も検討いただき、夏季暑熱環境下での緑地管理や、害虫防除のノウハウも導入いただきたい。</li><li>• 飲食はキッチンカーである必要があるか。例えば、防災関係、キャンプ関係の飲食、衛生管理を重視した上での大学や専門学校との連携なども検討されてはいかがか。</li></ul>